

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立武田の杜保健休養林

所管課 林政部 県有林課

指定管理者 山梨県造園建設業協同組合

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県林業公社	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	130,720,000
公益財団法人 山梨県林業公社 (H25.6.30まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	217,278,000
山梨県造園建設業協同組合		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	207,542,000
山梨県造園建設業協同組合		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	169,816,555

2 施設の概要

所在地	甲府市山宮町片山3371 外
設置年月日	昭和54年3月14日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例
設置目的	青少年その他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置する。
主な業務の内容	(1)キャンプ場利用の承認に関する業務 (2)施設等の維持保全に関する業務 (3)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (4)鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施及び鳥獣の保護に関する業務 (5)自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○面積:2,500ha ○施設の内容 ・健康の森:サービスセンター352㎡、森林学習展示館88㎡、展望休憩室15㎡、キャンプ場ログキャビン3棟、癒しの小径10.9km等 ・樹木見本園:休憩舎34㎡等 ・幹線遊歩道:遊歩道23.6km、展望休憩舎4棟等 ・鳥獣センター:管理棟369㎡、展示館210㎡等
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	43,008,103	43,120,527	43,720,269	44,661,280	42,774,403	
支出合計	42,393,830	43,680,501	43,492,925	44,372,094	42,196,587	
収支差額	614,273	△ 559,974	227,344	289,186	577,816	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	100,612人	96,997人	93,927人	49,144人	55,813人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

令和3年度 利用者数 目標値 101,600人 → 実績値 55,813人
 目標値に対し54.9%の利用状況であった。利用者減少の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県からの感染防止の協力要請により35日間の臨時休館が行われるとともに、感染拡大を懸念して外出を控えるといった社会情勢が大きく影響したものと考えられる。
 また、利用者満足度は、「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計が昨年度と同等の96.0%と目標の95%を超えており、安定的に利用者から好評を得ることができた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症拡大による施設休館の影響や外出自粛や各種イベントの中止等が社会的に求められた事により、利用者数は目標値を下回る結果となったが、介護施設や幼稚園などの団体利用の継続的な受け入れや、リピーターを中心とした利用者確保に努めたこともあり、利用者数は増加に転じた。
 こうした状況下において、運営においては遊歩道やキャンプ施設等の修繕や、眺望や公園利用者の安全確保のための森林整備のほか、利用者のニーズに沿った環境整備を実施するなど、施設管理者としての責務を果たしている。また、利用者の満足度は良好であり、指定管理業務は適正に行われたと評価できる。
 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、イベントの中止や規模の検討など、利用者の感染予防に配慮した施設運営に取り組むとともに、グリーン・ゾーン認証を取得するよう指導した。
 また令和3年度の定期評価に関して、森林公園の有料施設の利用促進についての目標は概ね達成し、森林セラピーを含む通年の自然体験プログラムの提供及び鳥獣センターにおけるボランティアとの協働については、実績が目標を上回る結果となった。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症防止対策として、換気・消毒、マスク着用・手指消毒・間隔の確保の注意喚起等、利用者 に配慮した日常的な取り組みを実施するとともに、県からの協力要請に応じて施設の休館等の設置を行ったほか、グリーン・ゾーン認証も取得した。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立武田の杜保健休養林

所管課 林政部 県有林課

指定管理者 山梨県造園建設業協同組合

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	利用者数	100,612	96,997	93,927	49,144	55,813
	利用者数合計	100,612	96,997	93,927	49,144	55,813
	目標値	89,932	90,831	100,600	100,600	101,600
	実績/目標割合	111.9%	106.8%	93.4%	48.9%	54.9%
	目標値の設定方法	前年度目標値×1.01		事業実施計画書 (前年度目標値×1.01)		
利用率	稼働率等(利用率)	317人/日	306人/日	297人/日	157人/日	179人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者人数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等)
----------	-------------------------------------

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

県	キャンプ場施設修繕	2,486,000
県	遊歩道修繕外1件	3,487,000
管	キャンプ場施設木製階段修繕	387,750
管	炭焼窯修理	343,000
管	森林学習展示館コンピュータークイズ「神々の森」修理 外 19件	1,780,174

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	随意契約	売上額の19%	51,823	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和3年4月～令和4年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答数:386人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①整備・施設状況	77.8%	20.2%	1.7%	0.3%
②開園日、開園時間	79.5%	18.8%	1.7%	
③スタッフの対応	87.5%	12.5%		
④プログラムの内容	79.9%	18.6%	1.0%	0.5%
⑤申し込み方法	77.3%	21.0%	1.7%	
⑥利用料金	72.5%	25.4%	2.1%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%
利用者の主な意見	【施設・設備】 1 西の平北側に倒れる恐れのある木を処理してもらいたい。 2 白山四阿のベンチ下のコンクリートが浮いている。 3 展望所付近の木にスズメバチの巣があるので駆除してほしい。 4 恵運院に設置している武田の柱案内板や片山林道脇、癒しの小径にスズメバチ等の巣があるので駆除してほしい。			
利用者の意見への対応	【施設・設備】 1 伐採処理を実施。 2 甲府市の管理する歩道上の施設であったため、市に対応を依頼。 3 巣を駆除するとともに、念のため周辺に立ち入り禁止のロープを設置。 4 巣を駆除。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>委託業務と併せ職員による清掃や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための消毒作業を行うなど、施設の美化活動や安全対策を徹底し、利用者の快適性の向上に努めた。</p> <p>浄化槽、電気設備、消防設備、給水施設等の点検、修理を実施した。</p> <p>老朽化した階段やテーブルベンチ等改修した。</p> <p>森林学習展示館内のコンピュータークイズ「神々の森」の改修及び、雨水等で壊れた自由広場からの作業道を整備し利用者の利便性に努めた。</p>	<p>業務計画書に基づき、施設の維持管理を適正に実施している。</p> <p>今後も、休息に必要な設備や施設の修繕など、快適性向上への取り組みや、遊歩道の点検、補修、倒木や危険木の撤去など、利用者の安全確保に向け適切な時期に取り組むこと。</p>
運営業務	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設の一時閉鎖などを行った関係で、主催事業等の一部中止等、施設運営上苦慮することが多かったが、来園者の関心を引くような展示として武田の杜に生息・生育する動植物などについて日々の見所などを写真で掲示するよう工夫するなど、利用者の満足度を高められるよう快適なサービスの提供に努めた。</p>	<p>コロナ禍という計画的な自然体験プログラムの実施が困難な中、利用者の快適性の向上や、満足度を高める取り組みを工夫しながら実施することで、利用者から高い評価を得ていることから、引き続きこうした取り組みを推進すること。</p>
利用状況	<p>介護施設や幼稚園などの団体利用を受け入れたり、新たな自主事業を行うなど、リピーターを中心に利用者の確保を図った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、サービスセンター、鳥獣センターなどを一時閉園した一方、フィジカル・ディスタンスが確保できる野外への需要の高まったこともあり、目標人数には達しなかったものの、利用者数は昨年と比べ増加した。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響は依然として大きく、利用者数は昨年度と同様に、目標を下回ってしまった。</p> <p>一方で、対前年では増加に転じており、リピート利用を推進することで、固定客の回復が一定程度図られているものと考えられる。</p> <p>今後もアンケートなどを活用し利用者の意見を取り入れ魅力ある主催事業の実施や施設管理を適切に行うなど、利用者の確保に向け積極的に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一時閉園したり、キャンプ場、デイキャンプ場の利用制限を実施したことなどにより、事業収入等は目標額には達しなかった。一方、人件費など管理経費の支出を抑制したことで、収支の改善が図れた。</p>	<p>収支はプラスとなった。</p> <p>引き続き、主催事業への参加者増加の取り組みを推進するとともに、消耗品費等支出の節減など、収支改善に努めること。</p>
自主事業	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により多くの事業が中止となったが、親子みどりの集いなど実施できた事業は、参加者等から高い評価を得た。</p>	<p>コロナ禍にあって計画していたイベントの多くが中止となった。</p> <p>新型コロナ感染拡大の動向を注視しつつ、利用者のニーズにあった自主事業となるよう、内容や実施方法を適宜見直すこと。</p>
利用者満足度	<p>利用者が森で安心して快適に楽しく過ごせるよう管理運営に努めた結果、アンケートでは、スタッフの対応、施設の整備状況、主催事業の内容等すべての項目で高い評価をいただいている。今後も高い評価を得られるよう努めていきたい。</p>	<p>「満足・どちらかといえば満足」の比率が96%と非常に高く、昨年度に引き続き利用者サービスに努めた結果が現れた。</p> <p>特に、スタッフ対応への満足度の向上は顕著で、昨年度の62.8%から87.5%へと大幅に改善された。</p> <p>今後とも感染症対策への配慮を怠らず、利用者のニーズに配慮した運営に取り組むこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

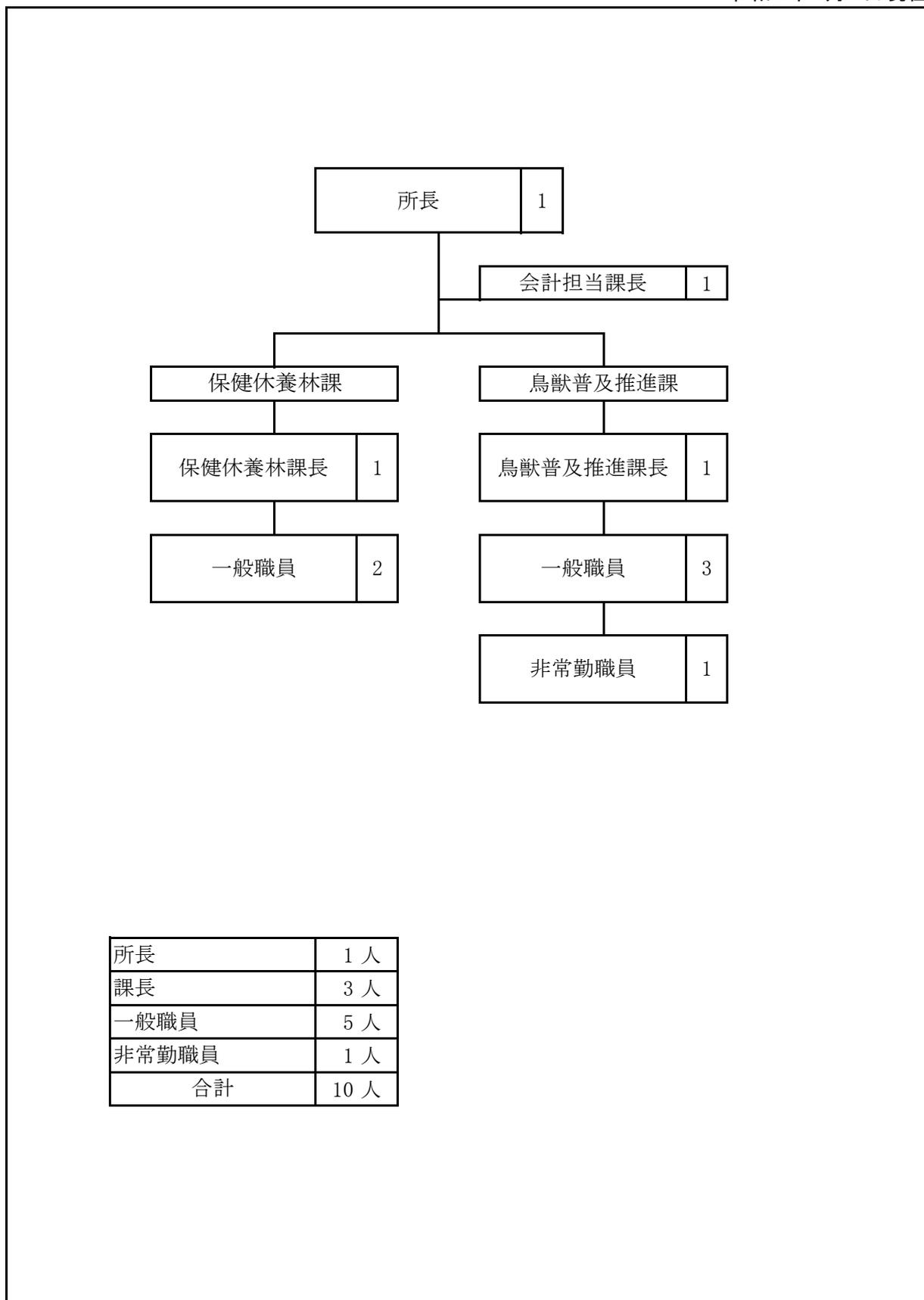
8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
森林公園の 有料施設の 利用促進	<p>施設の利用促進を図るため、デイキャンプ場の利用件数を評価指標とし、目標値を111件に設定</p> <p>利用最盛期にコロナ感染拡大の影響を強く受けたことにより、デイキャンプの利用件数は54件となり、実績が目標を下回る結果となった。</p>	<p>令和3年度はハイシーズンとなる8月、9月にコロナ感染拡大に伴う閉園が行われた結果、目標値を下回る結果となった。今後は施設のホームページやチラシ等を活用した広報を推進するなど、利用促進を図る。</p>
森林セラ ピーを含む 通年の自然 体験プログ ラムの提供	<p>森林・林業の役割等について普及・啓発を図るため、森林セラピーをはじめとする自然体験プログラムの実施回数を評価指標とし、目標値を19回に設定</p> <p>コロナ感染拡大により中止となったイベントも多数あったものの、実施時期の見直し等により、自然体験プログラム実施回数は25回となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が不透明なことから、実施内容や実施時期の見直し等により、年度業務計画に定める実施回数を確認できるように、柔軟な対応に努める。</p>
鳥獣セン ターにおけ るボランティ アとの協働	<p>鳥獣保護の重要性について普及・啓発を図るため、野鳥等の保護を行う鳥獣センターにおけるボランティア及び実習生受け入れ回数を評価指標とし、目標値を75回に設定</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館の期間(8/8～9/12)があったものの、社会人の方を安定的にボランティアとして受け入れられたことから、実績値は102回となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の受入回数及び人数は控えられているが、目標値は達成できている。</p> <p>今後も、コロナ渦による社会情勢を勘案しながら、より多くの方を受け入れ、興味関心を持つ方を増やせるように努める。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在



所長	1 人
課長	3 人
一般職員	5 人
非常勤職員	1 人
合計	10 人